

事業番号	事業名	質問項目	意見・質問内容	回答(ワーキンググループ・事務局記載欄)
111	地域医療連携推進事業		<p>南魚沼市への要望となるかもしれないが、人材確保策を市内事業所に限定せず、市内事業所の関係施設も含めてもらえるとうれしい(法人内異動もあるため、地域での人材確保には関係してくると思われる。)</p>	<p>南魚沼市では、人材確保対策として就学資金貸与を行っています。対象となる就業先は、現状、条例上に規定されているものとなっています。 ただし、ご意見のような異動は想定されるので、実際の状況に応じて柔軟に対応していきたいと考えています。</p>
131	産官学連携事業	⑧	<p>「この事業は定住自立圏の事業から削除してもらいたい」とあるが、どのようになっているのか。 事務局案は「一部見直しのうえ継続」となっている。「見直し」でないということは、一部見直すことで継続できるのか。削除してもらいたいというくらいなのだから、難しいことがあるのではないかと聞いてみたい。</p>	<p>ICLOVE事業は南魚沼市の創業支援計画により継続して取り組んでいきますが、当面は広域的な取組が難しい状況です(振返りシートの項目⑨のとおり)。 形成協定(連携事業の基本的な考えとなるもの)に記載した「圏域内の学術機関等と連携し、地域産業の振興を図る」ことについては検討を続け、各市町の情報を持ち寄りながらICLOVE以外の取組の有無を検討することとしたいと考えています。</p>
132	圏域観光情報窓口事業	⑦、⑩	<p>広域的な情報発信は大切だと思う。特に増加が見込まれる外国人観光客へ向けた取組は重要なので、翻訳料を3市町で負担する、翻訳について国際大学に協力を依頼するなどしてはどうか。</p>	<p>本年10月にJR浦佐駅に観光案内所が設置されます。 外国人対応についても設置目的に含まれていることから、圏域全体で広域連携のメリットが発揮できる方法を検討していきます。</p>
141	廃棄物処理施設広域化事業	⑦	<p>八色ブランドのアピールにごみ処理施設の建設が強い阻害用となっているのか。地域住民の反対理由はどのようなものか。</p>	<p>新ごみ処理施設の建設予定地周辺では、八色スイカ等ブランドへの風評被害を懸念する声もあります。 丁寧に説明を続けた結果、施設の安全性、搬入車両増加による交通事故への不安などへの反対意見はほとんど聞かれなくなりました。</p>
141	廃棄物処理施設広域化事業	⑧	<p>教育委員会のスクールバスの件だが、ごみ搬入車両はどの程度増加し、どの程度危険が伴うのか知りたい。 登校時間・下校時間を知ることで搬入時間を考えるなどは(してはいいか)。そのことで危険も減るのではないかと。</p>	<p>建設予定地は地元との合意形成が図られていないため、現時点で、施設本体、付帯施設、搬入道路整備などについて内容が確定できていません。 スクールバスに関しても同様です。運搬車はともかく、一般車両の持ち込みは進入路や時間帯の規制が難しく、一定の配慮が必要と考えています。</p>

事業番号	事業名	質問項目	意見・質問内容	回答(ワーキンググループ・事務局記載欄)
1712	防災対策活動推進事業	④、⑤	<p>忙しいとは思いますが、災害はいつやってくるかわからないので、きちんといつ(期日、期限など)やるのか数字で表し、フォーマットを作成して進められるとういと思う。 事業の目途は立っていないらしいが共有の部分は進められるのか。</p>	<p>事業実施後のリスト活用方法が明確になっていない現在の状態では、フォーマットの内容を詰めることができていません。南魚沼市が中心となり、広域連携のメリットについての再検討が必要となります。 防災計画にも関わることなので、今後改めてリストの共有を含め、定住自立圏事業としての可否を検討していきます。</p>
2811	広報活動推進連携事業	②	<p>何が有効かにとらわれすぎず、例えば市町のホームページの「子育て」や「観光」に他市町のリンクを貼るなどの方法からはじめてはどうか(全部まとめて一括に情報を発信するばかりが方法ではないと思う。)</p>	<p>子育てについては、定住自立圏の取組の一環で各市町の子育て広場について相互にリンクを貼っています。 こういった取組が他の連携事業に広がっていくように、広報の方法について一定のルール作りを行い、住民にとって分かり易い情報発信に努めていきます。</p>
2811	広報活動推進連携事業	④、⑤	<p>WG会議に出席できなかったとあるが、そのためH30年度に達成する事項が挙げられなかったのか。 この1年はどんな活動、時間だったのか(何かしたのか)。していないのであれば、それでよかったのか。(別の事業は取り組んでいる。)</p>	<p>これまでに紙ベースの広報については圏域内のルール作りを行いました。未だルールの内部周知が不十分の状況です。また、各市町の広報誌発行日が違うため、新鮮な情報発信ができないなどの課題があります。 今後はウェブサイトの情報発信も含め、業務として「情報発信の仕組みづくり」を検討していきたいと考えています。</p>
381	職員の人材育成のための合同研修	⑩	<p>連携による効果が小さく、現行と大差ない。となっているが、合同研修のイメージは講義的なものなのか。事例発表など、効果があった取り組みなどを伝え合うことで他の市の良さを取り入れ、持ち帰るものも多いのでは。 もちろん全体は難しいかもしれないが、部署別などで取り組むことで人件費の面でも効果があるのでは。</p>	<p>当該事業の検討当初は外部講師による合同研修の実施を考えていましたが、研修内容や対象者を絞り込めず実現に至っていません。 引き続き、合同研修以外の方法も含め検討していきます。</p>
381	職員の人材育成のための合同研修		<p>合同での研修でなくとも、各市町開催の研修を情報発信し、関心ある場合に他市町職員が参加できるようにするとよいのではないかと。</p>	<p>合同研修にこだわることなく、実施できる研修内容を検討していく必要があります。 ご意見のとおり、広域連携のメリットが発揮できる方法を今後ワーキンググループで話し合えるようにしていきたいと考えています。</p>